

校長室だより

ゆうかり通信

第2号 令和5年9月7日(木)

【2学期の学校経営方針 第1号の続き】

6 働き方の更なる見直しを図り、教職員の心身の健康保持を図る

これも、5のギガスクール同様、国を挙げて取り組んでいることですので、どこの学校現場でも、大変大きな課題です。本校でも4月に日課を見直したり、通知表を学期ごとから前期後期の2回にしたりして、様々な工夫をしてきたところですが、まだ、十分とは言えない状況です。今後も、行事や活動など、改善するところはないか、考えなければならないと思っています。今年度、県教育委員会も新たな取り組みをしています。先日は、アンケート調査も実施されました。

先生方の超過勤務の状況については、今後も毎月市教委に報告するようになっていくところですが、先生方もお分かりのように、月の超過勤務の上限は、45時間です。今後もひと月45時間という時間を常に意識しながら、早めに帰れるときは早めの退庁に心がけていただければと思っています。

先日の校長会では、「タイムカードの打刻の不正をしている学校がある」ということが話題になりました。タイムカードを打刻した後に残って仕事をしている学校があるということです。(念のため、これは、本校のことではありません。)このようなことは、絶対にあってはなりません。せっかくみんなで超過勤務を減らそうとしているのに、こんなことがまかり通ると、もう、元も子もありません。ただ、2学期から先生方をお願いしたいのは、超過勤務の実態を正確に把握するために、休日に仕事をしに来た場合も、タイムカードの打刻をしてほしいということです。これも校長会で話題になり、各学校でしっかりやっということになりました。

教職員の超過勤務の問題については、全国的に見ても、様々な議論が巻き起こっているもので、一筋縄ではいきませんが、これからも、「教育の質を落とさない」「子供や保護者からの理解が得られる」ことを念頭に置きながら、必要な業務改善をできるところから実施していきたいと思っています。

以上のような話をさせていただきました。

伊良林小は、職員室がチームになって、しっかりと子供の指導、保護者への対応にあたることができる、素晴らしい学校です。

「すべては子どもたちの未来のために」

2学期もよろしくお願ひします。